

## 第2回地域事業報告

2012年7月13日(金)午後1時30分～午後3時

鷺宮区民活動センター 洋室2号

### 自転車の安全利用 “どうしたら事故を防ぐことができるか”

講師 谷田貝一男氏(自転車文化センター学芸員)

#### 【内容】

交通事故の発生件数、自転車事故の発生件数は減少していますが、自転車事故の交通事故全体に占める割合は21%で減少していません。また、高齢者ほど事故を起こすと死に至るケースが多くなっています。高齢者の事故の原因は、バランスを崩して転倒する…46%、ルール違反…45%などとなっており、特にハンドル操作を誤って転倒しています。

鷺宮地域の特徴は以下のとおりです。

#### ◎幹線道路

- ・歩道が狭い
- ・車道通行が困難な箇所が多い

#### ◎生活道路

- ・信号のある交差点が少ない
- ・歩道のある道路が少ない
- ・狭い道路とやや広い道路が混在している
- ・路側帯が多い

#### ◎商店街

- ・道路への商品のはみ出しが多い
- ・不法駐輪が多い

#### ◎その他

- ・坂がある
- ・踏切がある
- ・直線道路が多い



荷物のバランスについて説明する谷田貝先生

街中で見かけた交通ルール違反は、二人乗り、信号無視、一時停止無視、自動車の無理な追い越し、右側通行です。鷺宮地域で見かけた困ったことは、路側帯の不法駐輪、路側帯への商品のはみ出し、歩道上の不法駐輪などです。路側帯は、歩行者と自転車の通行を妨げてはいけません。

自転車に乗る方が気を付けてほしいのは、以下のようなことです。

止まれの標識があるときは必ず止まって左右確認する、カーブミラーがあるときは確認しながら徐行する、とまれの標識もカーブミラーもないときは左ブレーキに手をかけながら徐行で左右を確認して横断する。一時停止は遵守する。スピードを出し過ぎない。ブレーキのかけ過ぎによる転倒を防ぐ。通行量の少ない箇所は中央寄りを通行して良い。中杉通りの狭い歩道や鷺ノ宮駅、都立家政駅の踏切は自転車を降りて押して通行、もしくは徐行するほうが良い。

自転車の転倒を防ぐためには、タイヤサイズの小さい自転車(24インチ)のほうがバランスを取りやすいので安全です。荷物を積むときには前のかごに入れる方が安定します。

事故の加害者の場合も被害者の場合も、必ず警察官を呼び調書を書いてもらうことが大切です。自転車保険もあります。「自転車は倒れやすい乗り物である」ということを認識したうえで、気を付けて乗ってください。